

時の動き

菅政権の本質に迫る

新社会党東京都本部委員長

福田 実

9月16日の菅政権発足から1ヵ月余。「安倍政権の継承」を言う菅首相ですがその本質に迫りたいと思います。

高い支持率の背景

東京新聞の読者欄を見て感心しました。紹介しますと「菅首相の評価、発言や実績で」の見出しで、「ヒットラーが赤ん坊を抱いている写真がある。東条英機が小さな女の子の頭をなでている写真があるー(略)人はプロパガンダではなく、後世に何を残したかので評価されるのだ。(略)パンケーキが好きで秋田の農家出身の苦勞人のおじ

さん、といった首相のイメージはどうだろうか」と。
高い支持率の背景にはメディアの付度があります。パンケーキも2千円台のものと言われます。

菅首相の正体

さて、菅首相は安倍政権で官房長官として前首相と一体となり悪政を遂行しました。「森友学園問題」では佐川氏へ隠蔽の指示をし、「桜を見る会」では紹介者をとりまとめ、今は「調査は必要ない」の態度です。
また、内閣人事局を設置・掌握し、

恐怖人事で官僚支配しています。さらに、メディアを強権で対応し、記者の「質問封じ」やNHKの経営委員会人事の介入やキャスターを降板させたと言われます。メディアが正しい情報を提供しなければ、世論調査や選挙結果でも正しい民意が反映されません。

新自由主義政治の継続

さて、菅首相は、敵基地攻撃能力を推進したり、改憲原案を急がせたり、庶民に恩恵のないアベノミクスや賭博であるカジノを推進したりで「安倍政治の継承」をしています。ここでは、



日本学術会議の支配を狙う菅政権への抗議行動

「新自由主義の推進」に絞ります。それは次のような発言をする者を重玉しているのを見るとわかります。

その一人は、デービット・アトキンソン氏（会社経営者）。持論は「日本には生産性が低い中小企業が多すぎる。

淘汰せよ」「慢性的な赤字企業はただの寄生虫」「新型コロナウイルスの助成金も小規模事業者にはいらぬ」と中小企業を敵視（全国商工新聞10/26）。

二人目は竹中平蔵氏（パソナグループ会長）。派遣労働者・非正規雇用を拡大した人物です。彼は最近「国民全員に毎月7万円を給付するなら高齢者への年金や生活保護者への費用をなくせる」云々と発言し、彼特有のベージックインカム論を提起し、ヒンシユクをかいました。

菅首相自身も「自助・共助」を強調し、自助できる、共助できる環境づくりが政府の責任なのに、それを破壊してきました。

学術会議の支配を狙う

学術会議推薦の6名の任命拒否は首相の強権的な姿勢を露わにしました。日本学術会議は、科学者の戦争加担を

反省して結成され、1950年、67年、2017年と3度「軍事目的のための研究は行わない」声明を出しました。こうした姿勢が「戦争する国」を目指す菅政権には邪魔なのです。

政府が「総合的、俯瞰的」と繰り返しているのは、6人を任命しない理由が言えない不当なものだからです。不だからです。

最後に

安倍政権に続き菅政権は、自民党議員等を公認権と金力で、マスメディアを圧力で、官僚を左遷で、忖度させ、今は学者をと、次々に広げ、世の中を支配者の意のままにしようとしています。それは、彼らの強さでなく行き詰まった新自由主義の現われです。

来たる解散・総選挙。市民・労働者・野党の共闘で頑張りましょう。

（ふくだ みのる）